

11月5日は「津波防災の日」です

つなみぼうさい
津波防災の日

つた ひろ
みんなに伝えよう広げよう!



11月5日は、「津波防災の日(世界では世界津波の日)」です。

この日の前後には全国で地震や津波から身を守るための訓練が行われます。



みなさんも学校や地域で行われる訓練に参加しましょう。

大きな地震が起こったあと、海や川のそばにいるときはどのように行動すればいいのでしょうか。

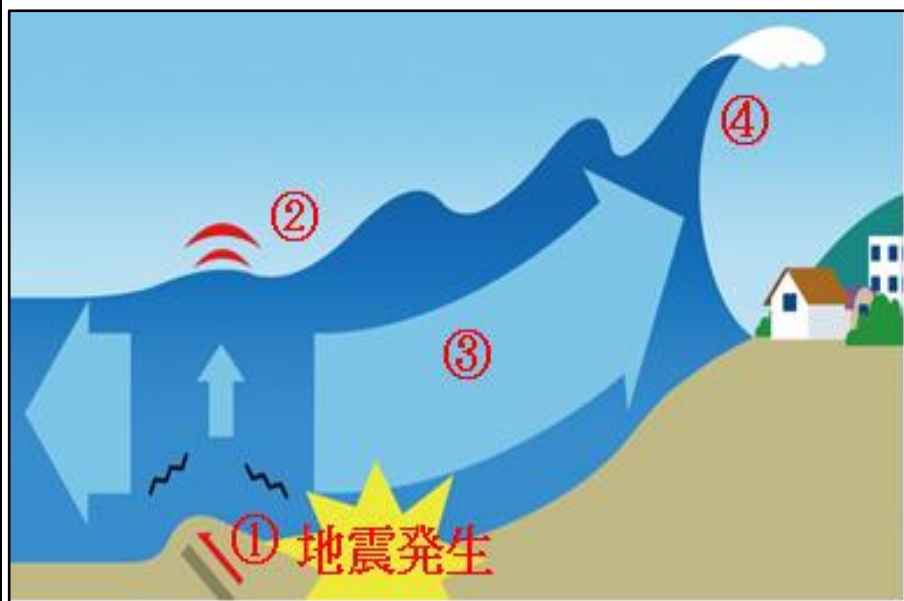
日ごろからの備え

- 自分の命を守ることに全力をつくす。
- まわりの人にも声をかけながらいっしょに逃げる。
- 家族と逃げる場所をきめておく。

津波防災ひろめ隊サイト(ホームページ)を見てみよう。
「津波防災ひろめ隊」で検索、
または、内閣府のホームページ
<<http://tsunamibousai.jp/>>

地震により津波が起こるしくみ!

津波



地震により津波が起こるしくみは、①から④のようなものになります。

- ①地震により、海の底が盛り上がりへこんだりします。
- ②その上の海水が押し上げられたりしずみこんだりして、周りに波となって伝わり広がっていきます。これが津波です。

③津波では、海の表面から底までの水が、かたまりとなってやってきます。

④海岸に近づくにつれて、津波は高くなりながらやってきます。

津波の速さは、海の底が深いところではジェット機ぐらいで、海が浅くなる海岸近くでは遅くなります。海岸近くで津波の速さが遅くなっても、その時の速さはオリンピック選手なみの速さ(100mを10秒で走るくらい)でやってくるため、普通の人々が海で津波を見てから逃げている間に間に合いません。

コラム

9月6日に北海道で大きな地震(最大震度7)が起こりました。この地震によって、山がくずれて家が壊れたり、液状化現象で、地面から水がふきだしたり、マンホールが浮き上がったりしました。また被害の大きかった場所では、電気や水道が長時間も使えない生活がつづきました。

地震はいつ起こるかわかりません。避難に必要なものには、何があるでしょうか? みんなで話し合ってしっかり準備をしましょう。



2018年	10月9日	火曜日
平成30年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

お天気Q&A

Q: 津波は日本以外の国から来ることがあるのでしょうか。

A: あります。
1960年に、地球上で日本の反対側にあるチリ共和国の近くで起こった巨大地震による津波が、約1日かけて日本までやって来ました。

そして、その津波は日本各地に大きな被害をもたらしました。



気象情報へのアクセス

地震や津波情報は

気象台 地震 津波 検索

津波の防災訓練のコンテンツ

気象台 津波防災ワークショップ 検索